

- 問1 福岡県などで出土した、表面が滑らかで機能的な形をした壺型の土器について、その形状や性質が変化した背景として最も適切なものはどれか。
(2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 大陸から伝わった仏教の影響により、華美な装飾を避けて質素な道具を作ることが社会の決まりとなったから。 | 2. 狩猟や採集を中心とした移動生活に耐えられるよう、衝撃を吸収するためにあえて厚手に作る技術が途絶えたから。 | 3. 稲作が普及したことで、収穫した食料の貯蔵や煮炊きといった生活道具としての使いやすさが重視されるようになったから。 | 4. 青銅器や鉄器が普及したことで土器が使われなくなり、儀式用の飾りとしてのみ作られるようになったから。 |
|---|---|---|--|
- 問2 弥生時代、大陸から金属器が伝わったことで人々の生活は大きく変化しましたが、当時の「青銅器」の主な用途と代表的な道具の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
(2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 食料を保存・調理するための容器として用いられ、須恵器などが作られた。 | 2. 鋭利な刃物として戦闘に用いられ、剣や矛などの武器の主流となった。 | 3. 祭祀や儀式のための道具として用いられ、銅鐸や銅鏡などが作られた。 | 4. 頑丈な農具として開墾に用いられ、すきや鍬（くわ）の先などが作られた。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問3 弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために造られた「高床倉庫」について、床を高く設計した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。
(2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 夏の暑さをしのぐために、地面に深い穴を掘って室内の温度を一定に保つため。 | 2. 敵からの攻撃をいち早く発見するために、建物全体を物見櫓（ものみぐら）として活用するため。 | 3. 床下の通気性を高めて湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害虫が侵入するのを防ぐため。 | 4. 洪水による浸水を防ぐために、海岸沿いの低湿地に集落の全ての建物を配置する必要があったため。 |
|---|---|---|--|
- 問4 弥生時代の遺跡から発掘される人骨に見られる特徴のうち、当時の社会において集落間の対立が激化したことを示す根拠として正しいものはどれですか。
(2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 人骨が、身分に応じた大きさや形の異なる前方後円墳などの古墳から発見されること | 2. 骨に武器による殺傷跡があったり、本来あるはずの頭部がない状態で発見されたりすること | 3. 人骨の周囲に、祭祀に用いられたと考えられる銅鐸や銅剣が大量に並べられていること | 4. 骨の成分分析から、家畜の肉を主食としていたことが判明し、獲物の奪い合いが推測されること |
|---|--|--|--|
- 問5 「魏志倭人伝」に記されている、3世紀頃の日本（倭）の社会や政治の様子に関する説明として、当時の状況を正しく述べているものを選びなさい。
(2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 律令制度が導入され、戸籍に基づいて全ての人々に口分田が割り当てられていた | 2. 仏教が伝来した直後であり、各地で巨大な寺院の建設が始まっていた | 3. 武士団が結成され、各地の荘園を管理するために地頭が派遣されていた | 4. 大人（たいじん）と下戸（げこ）という身分の差があり、租税を納める仕組みがあった |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|--|
- 問6 5世紀、倭の五王が中国の南朝である「宋」へたびたび使者を送った目的として、当時の東アジア情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。
(2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 福岡県の志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印を、宋の皇帝に返還するため。 | 2. 邪馬台国内での争いを鎮めるために、中国の強力な軍隊を日本国内へ招き入れるため。 | 3. 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。 | 4. 遣隋使の派遣に先立ち、中国の進んだ律令制度や仏教を日本に導入する許可を得るため。 |
|--|--|---|---|
- 問7 弥生時代に大陸から稲作が伝わると、収穫のための道具として磨製石器の一種が広く使われるようになりました。中央に2つの小さな穴が開いた半月形の形状をしており、稲の穂先のみを摘み取るために使用されたこの道具の名称を選びなさい。
(2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|--------|
| 1. 磨製石斧 | 2. 石包丁 | 3. 鉄鎌 | 4. 尖頭器 |
|---------|--------|-------|--------|
- 問8 弥生時代から古墳時代にかけて、収穫道具が「石包丁」から「鉄鎌」へと変化したことに伴い、収穫の方法はどのように変化したか。
(2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 実った穂先だけを摘み取る方法から、株の根元から刈り取る方法へと変化した | 2. 石の表面で穀を削る方法から、金属の刃で穂を細かく刻む方法へと変化した | 3. 地中の根を掘り起こす方法から、穂を叩いて実を落とす方法へと変化した | 4. 手作業で一粒ずつ拾う方法から、土器を使って一度に回収する方法へと変化した |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
- 問9 日本列島で稲作が広まり、人々が竪穴住居に住んで定住生活を行っていた時代について説明した記述があります。その記述には、大陸から伝わった銅鐸や銅鏡などの青銅器が祭りの道具として用いられていたことや、当時の中国の歴史書において日本が「100余りの国」に分かれていたと記されていることが示されています。この時代の名称として正しいものを選びなさい。
(2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 弥生時代 | 2. 古墳時代 | 3. 奈良時代 | 4. 縄文時代 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 3世紀の日本の様子が記された中国の史書『三国志』の「魏志」倭人伝において、約30の国々をまとめ、中国の魏に使いを送ったとされる邪馬台国の女王は誰ですか。
(2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 推古天皇 | 2. 北条政子 | 3. 持統天皇 | 4. 卑弥呼 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問11 3世紀の倭（日本）において、邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏へ使節を送った際、皇帝から授かったとされる称号と、その証として贈られたものの組み合わせとして適切なものはどれですか。
(2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|-----------------|------------------------|--------------------|
| 1. 親魏倭王の称号と、金印や百枚の銅鏡 | 2. 漢委奴国王の称号と、金印 | 3. 倭王の称号と、仏教の経典や寺院の設計図 | 4. 大王の称号と、鉄製の武器や農具 |
|----------------------|-----------------|------------------------|--------------------|
- 問12 弥生時代の大規模な集落に見られる「環濠集落」について、集落の周囲に深い壕や柵を設けた当時の社会的な背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 稲作が普及して蓄えられた食料や土地をめぐる争いが始まり、防御を固める必要があったため | 2. 仏教が伝来したことで、寺院を中心とした聖なる空間を俗世間から区別するため | 3. 大規模な洪水や高潮などの自然災害から、住居や高床倉庫が流されるのを防ぐため | 4. 大陸から伝わった最新の建築技術を誇示し、周辺の豪族に対して政治的優位を示すため |
|---|---|--|--|
- 問13 弥生時代の代表的な遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡について、その集落の構造を説明した記述として最も適切なものを次から選びなさい。
(2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 収穫した稲をネズミや湿気から守るため、床を高くした高床倉庫が集落の中心に配置されている。 | 2. 外敵の侵入や攻撃を防ぐため、集落の周囲に深い溝（濠）を掘り、さらに柵を巡らせている。 | 3. 交易を円滑にするため、海岸線に沿って長い石垣が築かれ、港の機能を中心としている。 | 4. 大規模な公共事業を行うため、周囲の山を削って平地を作り、規則正しく住居が並んでいる。 |
|---|---|---|---|